

厚生労働省
委託事業

令和2年度 高齢者活躍人材確保育成事業

農機具取扱い講習 受講者募集



■ 受講対象者

- 60歳以上の方で、シルバー人材センターの新規会員として就業を目指す方。（令和3年3月31日までに60歳になる方も受講可能です。）
（趣味や教養のための受講申し込みはできません。）
- 現在、シルバー会員であるが、新たな分野で就業を希望している方。

■ 受講料及びテキスト代

- 無料

応募締切：11月5日(木) 必着

| | |
|------|--|
| 日程 | 令和2年11月19日(木)～20日(金)の(2日間) |
| 会場 | 垂水市シルバー人材センター〈垂水市南松原町42番地〉 |
| 募集人員 | 10名 |
| 講習時間 | 10:00～16:00 (5時間/日) |
| 講習内容 | 1. 耕運機の取扱い・メンテナンス 2. 刈払機の取扱い・メンテナンス 3. 動噴機の取扱い・メンテナンス 4. 実習 |



※下記のどちらかまでお申し込み下さい。
※申込締切日後、書類選考のうえ、鹿児島県シルバー人材センター連合会から受講可否の通知をご自宅宛に郵送いたします。

受講申し込み
問い合わせは
こちらまで

公益社団法人 鹿児島県シルバー人材センター連合会

〒890-0053 鹿児島市中央町9番地1 鹿児島中央第一生命ビル8階
電話：099-206-5422 FAX：099-206-5410

公益社団法人 垂水市シルバー人材センター

〒891-2126 垂水市南松原町42番地
電話：0994-32-9781 FAX：0994-32-9782

第4回

たるみず歴史・文化散歩

『牛根麓』



六地藏塔

牛 根麓の宮崎川の右岸を国道から100メートルほど行くと、駐車場奥のびわ畑の中に六地藏塔が立っています。地元では「笠仏首塚」とも呼ばれ、上部に6体の地藏が彫られ下部の6面には、文政2(1819)年10月8日の漢文が刻まれています。六地藏塔の多くは戦乱や災害、不慮の事故などで亡くなった人々の魂を慰めるために建てられる供養塔ですが、その土地の歴史などが刻まれていることも多くあります。

【碑文の口語訳】

『牛根城の西側で、村人が古の人骨を多く掘り出した。村人はこれは不吉だとして牛根の地頭役所に尋ねたところ、役人がいうには「かつて、元龜・天正年間(1570～1593)に島津氏と肝付氏・伊地知氏・瀬寝氏との戦いしばしば起こり、将兵が多くここで死んだ。そこで墳墓を築いて、楠を目印とした。しかし安永年間の末(1779)桜島がひろく火山灰を降らし、墳墓は埋没してしまった」と聞いたことがある。この多く

の人骨がそれだろうか。そこで、地頭役所では人骨を改めて埋葬し直して、石を選び六地藏塔を彫りつけて建立した。そうして私(僧の快バン)に文章を作るよう命じられた。嘆息しつつ申し上げるが、まさに戦いで死んだ将兵の人骨を正式に供養するのは、役人の方の広い心であり、仏を冥途へと導くのは地藏菩薩の慈しみである。

今や古い人骨は記録がないので誰がその末裔か判らない。しかしながら、役人の広い心の供養によって、霊魂は仏に帰依することが出来たのである。その役人とは、廣田後藤兵衛、そして山口吉左衛門である。』

【碑文から】

● 元龜、天正年間の戦国時代末期、牛根城をめぐる戦いで陣没した将兵たちの供養塔である。
● 楠を植えて墳墓の目印としたが、安永噴火の噴出物により埋没して判らなくなり畑になっていた。

● 掘り出された人骨は埋葬し直し、改めて供養をしてこの六地藏塔が建てられた。
● 文政2(1819)年当時の牛根地頭所の役人は広田家、山口家が担っていた。
● 供養をとり行い、文章を作ったのは鹿児島の大乗院(真言宗)の支院・善聚院主の快バンである(当時、牛根麓には真言宗の花蔵院があった)ことなどが分かります。

六地藏塔は牛根麓のいろいろな歴史が刻まれた貴重な歴史・文化遺産であり、これからも大切に守っていかねばなりません。



びわ畑にひっそりと佇む六地藏塔

(文化財保護審議員・瀬角龍平)